

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題: ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

人の尊重と人材活用

人事制度の基本的な考え方

当社グループでは、従業員一人ひとりが、モチベーション高く成長しつづけられる職場づくりを目指し、専門性の高い人材の育成、多様性を強みとする企業風土の醸成、人権啓発等、さまざまな施策を実施しています。

人事制度の5つの柱

- (1) お客さまに、より高い価値ある商品・サービスを提供できる専門性の高い人材を育成すること
- (2) グローバルな競争に勝ち抜くための健全・磐石な経営体質の維持・強化を図ること
- (3) 先進性と独創性を重んじ、相互の協力を尊重する企業風土を醸成すること
- (4) 当社グループの社会的責任を自覚し、社会の健全な発展に貢献する企業文化を育成すること
- (5) ダイバーシティの本質を理解した「個」の重視と自己実現を通じての従業員活力を向上させること

→ WEB 人の尊重と人材活用
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/employee/>

→ WEB 人の尊重と人材活用に関するSMFG各社の取り組み
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/employee/achievement/index.html>

主な取り組み

》》 専門性の高い人材の育成

より高い価値ある商品・サービスを提供できる専門性の高い人材を育成すべく、グループ各社において、研修制度の充実等により育成体制の強化を図っています。



TOPICS

「SMFG合同新人プログラム」を実施

2013年4月、当社グループでは、グループの全体像や経営方針に対する理解を深め、「Team SMFG」としての一体感を高めることを目的に、グループの主要8社（三井住友銀行・三井住友ファイナンス&リース・SMBC日興証券・SMBCフレンド証券・三井住友カード・セディナ・SMBCコンシューマーファイナンス・日本総合研究所）の新入社員が一堂に会し、合同で研修を行う「SMFG合同新人プログラム」を実施しました。



グローバル人材の育成

三井住友銀行では社会やビジネスの急速なグローバル化進展に対応するため、「内なる国際化」をテーマに、実践的な語学力と国際感覚を持ちあわせた「グローバル人材」の育成に努めています。国を跨ぐ人材交流の拡充として、海外現地採用従業員（ナショナルスタッフ）と国内勤務従業員の合同研修や、ナショナルスタッフが一定期間（1年・3ヵ月・1ヵ月）日本国内各部署で業務を行うプログラムなどを実施しています。



会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題: ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

人の尊重と人材活用

人権への対応

当社グループは、「国連グローバル・コンパクト」の人権・労働・環境・腐敗防止にかかる10原則に賛同を表明し、人権啓発に積極的に取り組んでいます。

グループ会社においても、人権啓発研修の実施や人権標語の募集など、人権に対する意識を高める取り組みを行っています。

TOPICS

人権デューデリジェンスへの対応

ニッポンCSRコンソーシアム「人権デューデリジェンス ワークショップ」へ参加

国連人権フレームワーク、ISO26000、OECD多国籍企業行動指針など、国際的なCSRガイドラインにおける人権への配慮の重要性が増す中、三井住友銀行は「人権デューデリジェンス ワークショップ」に参加しています。

このワークショップは、CSR活動を通じて日本企業の競争優位性を向上させることを目的としてつくられた経済人コー円卓会議日本委員会が主催するものです。

当行は本ワークショップに参加することで、今後の人権課題へのアプローチ方法について調査・研究をしています。

多様性を強みとする企業風土の醸成

当社グループでは、性別・国籍などを問わず、さまざまな人材が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。仕事と家庭の両立支援に関する取り組みでは、「従業員サポートプログラム」の整備を進めており、グループ各社にて既に育児休業制度、看護休暇制度、短時間勤務制度などにおいて法を上回る制度を導入しています。

TOPICS

「なでしこ銘柄」に選定

2013年、女性活躍推進に優れた企業が選ばれる「なでしこ銘柄」※に当社グループが選定されました。



※「なでしこ銘柄」…2013年2月に経済産業省と東京証券取引所が共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を選定。①女性のキャリア支援と、②仕事と家庭の両立支援の二つの側面からスコアリングを行い、東証一部上場企業から約70社を選び、その中から財務面でのパフォーマンスもよい企業17社を選定。

TOPICS

仕事と家庭生活の両立支援

当社グループでは、仕事と家庭の両立支援制度を拡充しているほか、育児をしながら働くママ社員、パパ社員の情報交換の場として「ワーキングマザーミーティング」を三井住友銀行にて、「ママランチ・パパランチ」を日本総合研究所にて開催しています。また、SMBC日興証券、SMBCコンシューマーファイナンスではインターネットを利用した育児休業者復職支援プログラムを導入しています。三井住友銀行、SMBCコンシューマーファイナンス、みなと銀行、関西アーバン銀行では、育児休業中の従業員を対象とした研修を定期的に開催。三井住友銀行、関西アーバン銀行では産休取得予定者を対象としたセミナーを実施するなど、各社、円滑な職場復帰の支援に取り組んでいます。三井住友銀行では、子供の突発的な病気の際の対応に悩んでいるという育児中の従業員の声を受け、2013年から病時利用可能なベビーシッター業者と提携し、より柔軟に働くための支援を行っています。



健康で豊かな生活の実現

グループ各社では、安全で働きやすい環境をつくるとともに、従業員の健康で豊かな生活を実現するために、さまざまな取り組みを行っています。

三井住友銀行では、従業員の健康管理を担う健康サポートセンターを、東京・大阪それぞれ1カ所ずつ、計2カ所に設置し、産業医・看護師・保健師等のスタッフが常駐しています。また、健康サポートセンター内には診療所を併設しています。

また、従業員の労働条件・人事制度等についての定期的な協議などにより、健全な労使関係を構築しています。